

第2回境港市民交流センター（仮称）基本設計検討委員会 会議録（要旨）

日 時 平成29年2月10日（金）午後2時30分～5時20分

場 所 境港市民会館大会議室

出席者 【委員会委員】

丸田委員長、池淵副委員長、増谷委員、門脇委員（代理）、安倍委員、足立委員、松本委員、高木委員、湯越委員、永井委員、角（俊一郎）委員、角（勝子）委員、梶谷委員

【事務局】

木下防災監、下坂建設部長、田辺福祉保健部次長兼福祉課長、藤川教育委員会事務局長兼教育総務課長、渡辺財政課長、黒崎生涯学習課長、山田自治防災課長、手島自治防災課危機管理室長、園山建築営繕課建築指導係長、浜田生涯学習課生涯学習係長、竹内生涯学習課文化体育係長、北野教育総務課管理係長

【設計業務委託事業者】

石本建築・桑本総合設計共同企業体（以下、「設計事業者」という。）

< 次 第 >

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

（1）市民説明会について

資料1

（2）第2回市民ワークショップについて

資料2

4 協議事項

（1）境港市民交流センター（仮称）の各機能の配置等について

資料3

5 その他

6 閉 会

< 会議録（要旨） >

◆次第1，2，6は省略

◆次第3 報告事項の説明（生涯学習課長）

市民説明会、市民ワークショップの結果報告に対しては、若者や子育て世代への意見をさらに求める発言があった。

（主な質疑）

委員）若者世代、子育て世代の意見が盛り込まれなければいけない。今後もそのような取り組みはあるのか。

⇒事務局）市内高校生、また米子高専の生徒に、今後も意見を伺うこととしています。このほか、読み聞かせ団体などの関係団体にも若い年代層の方がいるので、意見は伺います。

丸田委員長）子育て世代など30から40歳代の人に、今後はさらに強く働きかけてほしい。また、青年会議所の皆さんにも出てもらうとか関係団体の若い世代にも声掛けを強めて盛り上げてほしい。

◆次第4 協議事項の説明（自治防災課長）

青年会議所の門脇氏から、プロポーザル案を積極的に推す意見が出された。丸田委員長からもプロポーザル案を全く変えてしまうことは考えられないという発言もあったが、現在の設計案の外観が弓ヶ浜の形状を残していることもあり、基本的には現在案で進め、今回の検討委員会の意見を踏まえて、さらに検討することとなった。

（主な意見）

◇資料3中 I 第1回検討委員会以降の基本設計（案）の修正内容と経緯について

丸田委員長）「I」について意見をいただきたい。具体的には10ページの「市・事務局の考え方」についての意見や質疑をいただきたい。

委員）プロポーザルで提案されたキッズルーム、子育て支援カフェなどが無くなっていることに疑問を思う。現在の設計案は市民会館のホール機能と図書館機能を引っ付けただけだ。

設計業者が追加提案した図面（図書機能が1, 2階に分かれる案）が良い。現在の設計案では市民の交流に繋がらない。

また、外観の全面ガラスや大きな庇は、市民に親しみを持ってもらうこと、建物内の雰囲気分かり交流が生まれると思う。実用性だけではなく夢のある建物にしてほしい。

⇒事務局）プロポーザルは、設計業者を選定する方式です。コンペのように設計案を採用したのではなく、市民とともに設計を作り上げていくパートナーとなる設計業者を選定したものです。

市では、実際に使っていただく市民の声を大切にしたいと考えており、出来るだけ多くの市民の声を反映していきたいと思っています。

そこで、現在の設計案は、市民ワークショップ、前回の検討委員会などの段階を経て、お示ししていると理解していただきたい。

外観については、本日の検討委員会でご意見を伺い、市でも検討したいと考えています。

丸田委員長）確かに市民の考えが優先だが、プロポーザル時と外観がまったく変わることはこれまでもない。当然、プロポーザルでの設計案が、全く同じものになることはない。金額の面があるし修正する点もいっぱいあるから。しかし、大元のところを全くガラガラと修正するものでもない。審査においては、図書館機能についても練れていたし、駐車場も検討され、ファサードについても特徴的で弓ヶ浜というキーワードもあり、審査員のコンセンサスがとれたと考えている。プロポーザルの制度は事務局が言う通りだ。

委員）弓ヶ浜の外観については、境港のシンボルとしては良いと思うが、全面ガラスは考えられない。

図書機能でも読み聞かせコーナーは壁があった方が良く。現在の設計案は使いやすい感じにできていると思う。

私の意見としては、中央公園とのつながり、会議室で使用する機材の収納倉庫、大会議室横の広い通路の使用法、また、現在の市民図書館と市民交流センターとの通路等の考えを伺いたい。

⇒事務局）公園とのアプローチについては、2月28日のワークショップでも意見を伺いたい。会議室の収納については、実施設計の中で検討しますが、利用者団体の方にも伺いながら進めていきたい。

現在の市民図書館との行き来については、図面の荷捌き室の部分や図書交流機能の公園側の出入口からも可能ではないかと考えています。

大会議室横の広い通路については、テーブルやイスを置くと高校生などの居場所になるのではないかと考えていますし、インターネット環境を整備することで多くの人に集まっただけなのではないかとも考えています。

委員) 図書交流広場が和やかな市民の交流の場所となつてほしいと思う。障がいのある方や高齢者にも楽しめる児童図書や絵本がたくさんあるので、図書機能は1階、2階に分けることなく、すべて1階においてほしいと思っている。また、親子連れで来た時に、子供が児童図書で親が一般図書を見る場合も同じフロアが安心できると思う。

公園との一体化は楽しみにしている。少し公園に出ることができたり、ガラス張りで公園が見えたりすると、図書交流広場の空間がぐっと広がると思う。

ガラス張りは外からも中のにぎわいを見ることができて良いと思う。

2階のホワイエにもテーブルやイスを設置してほしい。駐輪場も確保してほしい。

⇒事務局) ホワイエや駐輪場の件は、今後、検討します。

委員) 全面ガラスは耐震的には大丈夫なのか心配だ。また、建築費やメンテナンスの経費も心配だ。

大会議室横の広い通路は展示に利用してもいいのではないか。

図書の返却時にポストに入れておくなどの対策はあるのかどうか伺いたい。

⇒丸田委員長) ガラス張りの耐震性については問題ない。空調を考え南側は壁にしてもいいが、東側は環境的にも光を取るという点ではガラス張りは良い。

大きなガラスは耐震性能があつて割れることはない。中の照明を減らすことができる。

⇒事務局) 図書の返却ボックスは今後検討することとしています。

委員) 市民目線で話したい。境港市の人口と財政を考えると、減らせるものは減らしたいと考えている。

1千万円でも2千万円でも減らすべきだと思う。公民館の耐震化が行われているが、今後は地区会館の耐震化、改修工事もしていかないといけない中で、人口も減るし、将来に負の遺産を作つてはならないと考えている。与えられたスペースの中でどのような活用ができるかを考えていかなければならないと思う。

プロポーザルの審査委員としては、市民が利用したいと思うような見た目は重要だと思うので、弓ヶ浜の形状は良かった。そのうえで、事務室等の実用性を考えて直線にしたことも良いと思う。

図書交流広場では、大規模災害時は書架を移動して避難できるようにしたら良いと思う。

災害時の水源は重要だが、雨水利用は経費が高く無理だと思う。国の補助を受けて中央公園に防火水槽を設置できればよいと思うがどうか。

また、図書の返却時も図書交流広場まで入ってくることで交流が生まれると思うのでいいのではないか。

⇒事務局) 防火水槽については、以前は補助を受けて設置していたが、制度が続いているかどうかは調べてみないと分かりません。なお、昨年、さく井協会から中央公園に手押しポンプと動力井戸の2つを寄贈していただきました。

書架については、固定するのが一般的なので、移動することはできないと思われます。

委員) 全面ガラスについて、南側は図書への影響が気になる。また、児童図書コーナーと一般図書コーナーが一体となつており静寂性が保てないと思うがどう考えているのか。

ホワイエとエントランスの仕切りについて考えてほしい。また、公園に抜ける通路はあった方が良い。

⇒事務局) 南側の日差しについては、設計業者では水平ルーバーを付けて日差しをカットするよう提案されています。

エントランスの広さについては、全体面積が基本計画でも定めている中でこのようになっています。

⇒設計業者) エントランスとホワイエの間は壁を作るということではありません。ホールでイベント等を行っていないときは、エントランスとホワイエは一体として使用できるようになっています。

⇒事務局) 図書機能の静寂性については、例えば読み聞かせコーナーには仕切りを付けるなどして静寂性にも配慮したいと考えています。

委員) 交通公園を駐車場にできないか。外観の弓ヶ浜の形状は良いと思う。

⇒事務局) 駐車場については、全体の状況を見ながら考えていきたいと思っています。

委員) 大会議室は市展で使用する場合、倉庫が必要になる。各会議室にも倉庫があれば良い。

また、ホワイエにベンチなどがあれば良いと思う。

⇒事務局) 会議室の倉庫については検討します。ベンチや授乳室などの設備面も検討しています。

委員) ガラス面については、見た目がいいからと言ってガラス張りにするのは止めた方が良いと思う。非常口が確保できているのか分かりづらいがどうか。

経費については、極力を抑えないといけない。防衛補助が満額出るとは考えにくいので、身の丈に合ったものにしてほしい。

⇒事務局) 非常口については建築基準法に合った設計にするので確保します。

丸田委員長) それでは、10 ページの市・事務局の考え方については、概ねこのように進めてもらってよろしいでしょうか。

委員) ゲゲゲストリートはできないとなっているが、公園との一体化は検討することで良かったか。

⇒事務局) ストリートにはなりません、図書交流広場から公園への出入口については検討します。

委員) 公園との一体化により交流や市民の滞留ができて効果的だと思う。

⇒事務局) 市民ワークショップでも意見を伺い、管理面も含めて検討します。

丸田委員長) それでは、意見を踏まえて市の考え方に沿って進めていただきたいと思います。

◇Ⅱ耐震・免震構造の比較について

丸田委員長) 次に耐震・免震についてご意見を伺いたいと思います。

初めに、免震だとランニングコストが必要だとなっているが、どのような経費ですか。

⇒設計事業者) 毎年の定期点検及び災害時の点検が主で、目視点検から計測点検まで年度によって内容が異なります。

丸田委員長) 基本的に免震装置はメンテナンスフリーが常識となっている。点検はあっても金額が高額だと思う。

丸田委員長) 建築基準法により耐震性能を定めている。最低基準が1.0であるが、1.0は震度7を想定していない。想定すると経費がかかりすぎるからだ。免震は、免震ゴムで揺れを吸収するが、耐震は1.5としても揺れるが建物が耐える。

また、地域係数は地震が来ないと思っているから軽減するものであり、昔の人が残した負の遺産だ。免震にすると杭を支持層まで打たないといけないのでお金もかかりすぎる。

そこで、地域係数は用いないで用途係数の1.5を取って耐震構造にするのが、予算の面も考える一番良いと思う。

ご意見はありますか。

委員) 地盤調査の結果を見てプロの判断に任せれば良いのではないかと。

⇒丸田委員長) それは、免震の方が地震の揺れに対しては良いと思うが、お金の面も含めて総合的に考えると耐震になると思う。地質調査で支持層が浅くて安くなれば良いが時間がかかる。

⇒事務局) 12ページの経費比較は支持層が45メートルと想定して金額を算出していますが、現在、地質調査で50メートルまで掘って支持層に当たっていないので、この差は広がると思われます。

丸田委員長) では、ここは市の考え方でよろしいでしょうか。

委員) 「はい。」という声あり。

◇Ⅲ市民説明会・市民ワークショップ等の意見を踏まえた修正事項について

Ⅳその他の留意事項について

丸田委員長) それでは、時間も押しているので、ⅢとⅣについて、意見を伺います。

委員) 前回の私の意見を反映してもらっていると思う。

2階の利用については、イベントがないと寂しくなると思うので、工夫してもらいたい。

委員) ピアノ庫の位置を変更していただけるようなのでいいと思っている。

委員) 防衛の補助の範囲を考えて実施してもらわないといけない。経費のことが心配だ。

⇒事務局) 防衛の補助金は、未定であり、4月に決まると伺っています。

委員) 太陽光発電は必要ないと思う。非常用発電を別につけるのであれば必要ない。

⇒事務局) CO2削減が行政に求められていることもあり、他に有利な財源があれば良いと考えています。

委員) 太陽光は売電をしてもコストがかかるのか。

⇒事務局) 先ほども申し上げたとおり 50年スパンで検討しているので更新費もかかることから、このような結果になっています。

委員) 先ほど、4月に補助金額が分かるといったがどういうことか。

⇒事務局) 市民交流センターのうち補助対象と対象外の部分を分かるのが4月だと聞いています。

次回の検討委員会は3月に開催したいと考えていますので結果が出る前になります。

丸田委員長) この基本設計は防衛局に提出するのか。

⇒事務局) 今年度の補助事業ですので、3月末には提出することになります。

丸田委員長) プロポーザルで出ていた空調などを含めたエネルギーのことや雨水利用などは基本設計の後になるのか。

⇒事務局) 設計事務所から雨水利用や太陽光発電以外の設備についても維持費や初期投資についても比較をしてもらっているので、出来るだけ基本設計の中で決めていきたいと思っています。

丸田委員長) それでは次回は外壁についても、全面ガラスと外壁の比較などもしたらよいと思う。

良い提案があればと思う。ランニングコストについても重点を置いて考えていかなければならない。

丸田委員長) それでは、これでよろしいでしょうか。

⇒事務局) 4項目の協議をしていただきましたが、市・事務局の考え方に基づいて進めていけばよいということでもよろしいでしょうか。

丸田委員長) 基本的には進めていただければよいが、本日の意見をさらに反映してほしい。

⇒事務局) 基本的には現在の設計案で良いということでしょうか。

丸田委員長) 現在の設計案を元に戻せと言う意見は出なかったが、中庭や弓ヶ浜のイメージなど色々な意見がありましたので、検討して進めてもらえばよいと思います。

委員の皆さん、それでよろしいでしょうか。

委員) 「はい。」という声有り

◆次第5 その他<事務連絡>

次回は3月15日(水)午前10時から行います。